

2021(令和3)年度 事業計画(案)

1. 県連盟年度事業方針 スローガン及び、重点目標

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟として地域社会の発展にどの様に貢献していくかを事業の中に明確に示していくと共に、時代に合うスカウティングの推進を事業方針とする。

スローガン

「地域社会の発展に貢献するスカウト運動の推進」

静岡県連盟結成 100 周年を迎え、この歴史を基に輝かしい未来を創ろう

重点目標

1. 節度ある行動と実践
おきてを忠実に実践しよう
2. 未来を担う指導者の育成
女性指導者およびユース年代の活動に支援しよう
3. スカウト運動の認知度を高める
スカウティングの楽しさを広めよう

2. 県連盟コミッショナー方針

基本方針の遵守を目指す。

ボーイスカウト運動は、「ちかい」と「おきて」の実践を基盤とし、ベーデン・パウエルが提唱する班制教育と各種の進歩制度と野外活動を、幼年期より青年期にわたる各年齢層に適応するようにビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト及びローバースカウトに区分し、成人指導者の協力によってそれぞれに即し、かつ、一貫したプログラムに基づいて教育することを基本方針とする。

(日本連盟教育規程 1-4「基本方針」より)

- (1) ちかいとおきての実践を基盤とした班制教育・進歩制度・野外活動を推進するために、各団は現状カテゴリーからの1UPを目指す。
- (2) 成人指導者の協力による一貫したプログラムに基づき、各部門に示された進歩進級課程を履修することを目指す。

3. コミッショナー及び各種委員会事業目標

(1) コミッショナー

1. 地区重点支援団への支援を行う
組織拡充・地域連携委員会と連携し、地区重点支援団を決め、地区コミッショナーを中心としたチームで支援を行い、1UPを目指す。
2. 新しい活動のあり方を実践する。
 - ① ちかいとおきての実践を

コロナ禍の中、家族と過ごす時間が増えたことで家族の絆を今一度見つめることができた。まずは一番身近にいる家族に「ちかいとおきて」を実践する。

- ② 今できること、おうちスカウティングを取り入れた班制教育を
コロナ禍の中、活動ができなかったことで、指導者とスカウトの絆を今一度見つめることができた。これからも離れていてもできる「おうちスカウティング」を実践し、“家から 班（組）活動へ、そして隊活動”に繋げる。
- ③ オンラインを取り入れた班制教育を
コロナ禍の中、活動ができなかったことで、スカウト仲間の絆を今一度見つめることができた。これからも離れていてもできる「オンライン会議」を活用し、班長会議や班会議、隊運営会議や隊会議に繋げる。※団委員会や団会議にも活用を。

3. 班制教育を用いた隊活動を

- ・班活動（組活動）で実践したことを隊活動に繋げる。そのためにも複数班（組）が構成できない時には、他団との合同隊での活動を試みる。
- ・また、ビーバー部門は多くの団と活動し、新しい友だちが参加できる機会を作り、ベンチャー部門では地区ベンチャー隊をはじめ、多くの団との交流や、ジュニアリーダーとしてボーイ隊の運営にも参画する。

4. ユース年代の拡充および活躍ができる環境づくりを

- ・県連盟、地区、団はユース年代の発掘と支援を全力で取り組む。
- ・ユースチーム静岡が活躍できるよう、日本連盟や中部ブロック、県内各地区と連携し支援する。

5. 「セーフ・フロム・ハーム」と防災教育について取り組む。

- ・成人指導者は「セーフ・フロム・ハーム」のめざすものを理解し、率先して実践する。
- ・成人指導者は登録前研修を受講する。
- ・県連盟として「セーフ・フロム・ハーム」セミナーを実施できるよう支援する。
- ・地域社会と協同し、防災教育に取り組む。

6. 県連盟トレーニングチームを活用し、指導者活性化支援を行う、

- ・団・隊指導者の任務に必要な心構え、知識、技能の習得を支援する。
- ・団・隊指導者に対する個別支援の充実と定型訓練・定形外訓練を通じて、一人一人のレベルアップを行う。

(2) 総務・広報委員会

1. 県連盟定時総会、理事会、納涼交歓会、新年賀詞交歓会等の企画・準備・運営を効率的かつ円滑に行う。
2. 県連ホームページ及び県連盟機関紙「たちばな」の充実により、「情報発信・情報共有」の取組みを強化する。
3. 専門チーム（「国際活動チーム」「医療チーム」）の整備に取り組む。
4. 危機管理の仕組み作りを進める。
5. 各委員会の所掌に属さない業務を推進する。

(3) 組織拡充・地域連携委員会

1. 登録人数を確保し、1つ上のカテゴリーを目指す。*
 - ① カテゴリーS, Aの団は、各隊標準隊をめざす。

- ② カテゴリーBの団は、カテゴリーA（スカウト数 65 名以上）を目指す。
 - ③ カテゴリーCの団は、カテゴリーB（スカウト数 40 名以上）を目指す。
 - ④ カテゴリーDの団は、カテゴリーC（スカウト数 20 名以上）を目指す。
 - ・団の現状分析と課題抽出
 - ・入団勧誘の促進と賞賛
 - ・目標達成団への賞賛
2. 団の資質向上と組織重視への意識改革
 - ・SKC（ソカクコーホーカレッジ）開催と内容充実
 - ・SKCを通じて、団運営活性化の支援と団運営指導者の資質向上
 3. 地域社会との共働のため、防災キャラバン、「体験の風をふかそう」をサポート、防災合宿を推進し、ボーイスカウト活動のPRに取り組む。
 4. 緑の募金運動、緑化推進事業の積極的な推進により地域社会に貢献する。
 5. 地区、団における地域貢献活動の実態調査を行い、地域連携の推進を行う。

注*—各部門目標値（現状カテゴリーから1UPを目指すための目標値）

S：BVS 20 名以上、CS 24 名以上、BS 32 名以上、VS 18 名以上、RS 10 名以上

A：BVS 10 名以上、CS 15 名以上、BS 20 名以上、VS 12 名以上、RS 8 名以上

B：BVS 8 名以上、CS 10 名以上、BS 12 名以上、VS 6 名以上、RS 4 名以上

C：BVS 4 名以上、CS 6 名以上、BS 6 名以上、VS 3 名以上、RS 1 名以上

(4) 指導者委員会

1. 任務中の支援（インサービス・サポート）の理解と積極的な推進を図る。
 - ・団委員長を中心とした、隊指導者への支援についての理解を進める。
 - ・団・隊指導者の任務に必要な心構えと知識、技能の修得を積極的に支援する。
〔県連盟トレーニングチームと地区コミッショナーの連携による地区定型外訓練の実施に対する支援〕
 - ・隊指導者に対する個別支援の充実と定型訓練・定型外訓練の実施により一人一人のレベルアップを行なう。
〔現在の訓練コースへ再び参加することで最新の訓練コースを理解する。〕
 - ・県連盟が実施する定型訓練・定型外訓練に対する確実な評価を行う。
2. セーフ・フロム・ハームの理解と推進（SFH・安全委員会より）
 - ・「セーフ・フロム・ハーム」セミナーを開催する。
 - ・登録前「eラーニングの履修」を推進する。
 - ・理解を進めるための教材等の紹介などの啓蒙活動を行う。
3. 「安全普及フォーラム」開催（SFH・安全委員会より）
 - ・地区またはブロック単位で開催できるように支援する。
 - ・日本連盟主催「安全基幹フォーラム」研修に担当者を派遣する。
4. 「発達障がい児スカウティング研修会」を開催する。（SFH・安全委員会より）
 - ・支援を必要とするスカウトに対する支援の方法を学ぶ。
5. ユース年代のトレーニング支援を行う。
 - ・ユース年代のトレーニングへの参加支援と積極的な奨励を行う。
 - ・トレーニングを通じたユース年代の活躍の場をさぐる。
6. 県連盟野営備品の維持管理の充実

- ・タスクチームによる太田山倉庫・大仁倉庫および桃沢倉庫の保守管理。
- ・タスクチームによる県連盟野営備品の管理・補充を行う。

(5) スカウト委員会

1. 進歩の促進

- ・現進歩課程での進歩・進級に積極的に取り組めるように支援する。
- ・技能章取得の支援をする。
- ・SDGs を積極的に取り入れた活動を推進する。

2. 信仰奨励の推進

- ・信仰奨励章、宗教章取得の支援をする。

3. 国際理解・国際交流の促進

- ・海外派遣事業の実施に向けて調査を実施する。
- ・国際交流および海外派遣事業の活動報告会を開催する。

4. 安全なスカウト活動の啓発

- ・新しい生活様式下に対応したスカウト活動への取り組みを支援する。

5. 防災プログラムの研究と提案

- ・既存のマニュアルの内容の見直しを図る。

6. JOTA/JOTI の推進

- ・多くのスカウトが参加する、隊の枠を超えた仲間づくりの支援を行う。

(6) 女性・ユース活躍委員会

1. 県連盟等でさまざまな場面で女性指導者が活躍できる環境を策定する。

2. 地区・団における女性指導者の活動実態を調査し、活躍を支援する。

3. 次世代チームの活動を支援する。

- ・次世代チームを活用し、次世代のあり方について情報共有化を図る。

4. ベンチャースカウトフォーラムの実施展開を行う。

- ・各地区でアフターフォーラムが実施でき、次の全国フォーラムにつながるよう支援する。

5. ローバースカウトの活動を支援する。

- ・日本連盟や中部ブロック、県内各地区と連携し、ローバースカウトが活躍できるよう支援する。

6. ユースチーム静岡の活動を支援する。

- ・コミッショナーグループと協働し、35歳以下の人材に対し、ユースチーム静岡への加入を促進するとともに、メンバーの把握を含め組織運営等を支援する。
- ・日本連盟や中部ブロック、県内各地区と連携し、ユースチーム静岡が活躍できるよう支援する。
- ・ユースチーム静岡の活動を広く周知する。

(特別委員会)

(7) 静岡 100 周年記念大会実行委員会

◇大会名称：静岡 100 周年記念大会

1. 静岡 100 周年記念式典

- ・2021 年日本連盟全国大会を熱海市にて開催、期間中に記念式典を実施する

- ・ 2021 年 11 月 28 日アソシアにて 100 周年記念表彰とレセプションを行う
 - ・ 静岡 100 周年記念県連盟所属章を作成し、2022 年 3 月まで加盟員全員が着用する
 - ・ その他
2. 静岡 100 周年記念誌の編纂
 - ・ 静岡 100 周年記念誌と資料 DVD を 300 部作成する。
 - ・ その他
 3. スカウトを対象として記念行事の実施
 - ・ 静岡 100 周年記念を冠にした、スカウト対象行事の企画、実施を行う

(8) 2021 年全国大会静岡実行委員会

1. 実行委員会の開催
 - ・ 2021 年全国大会実行委員会への参画
 - ・ 現地との調整 MOA・ホテル・輸送・観光協会等
2. 各地区への支援依頼
3. その他・100 周年事業との連携

(9) 18NSJ 静岡実行委員会

1. 実行委員会の開催
2. 県連盟派遣団本部の運営
3. 本部要員の確保と配属
4. その他
 - ・ 開催期日 2022 年 8 月 4 日 ～ 9 日 開催地 東京、川崎
 - ・ 参加予定申込 2021 年 7 月 ～ 10 月 31 日(県連盟締切) 日本連盟 11 月 30 日
 - ・ 参加確定申込 2022 年 1 月 ～ 3 月 31 日(県連盟締切) 日本連盟 4 月 30 日
 - ・ 予納金 10,000 円 (参加費調整中)